

平成 28 年度一般社団法人日本カーシェアリング協会 事業報告書

<テーマ>

型の完成

平成 28 年度は、その前年度までに作り上げてきた型を展開させてまいりました。前年度吉野町復興公営住宅で整理・調整した「コミュニティ・カーシェアリング」を市内 4 箇所に導入し、同じく吉野町で行った EV 防災訓練を倍の規模で展開し、関東東北豪雨で行った緊急支援活動を熊本地震・岩手の台風 10 号被害へ約 5 倍の規模で展開致しました。また、これら非営利事業を支える収益事業において、その中核を担うリース事業を開始し、更に保険代理店の資格も取得し保険事業もスタートさせました。非営利事業・収益事業の二つの両輪を持つ組織の型を築きあげた 1 年とすることができたと思います。

新規登録車両台数 : 55 台 (前年度比: +30 台)
車両活用手数 : 107 台 (前年度比: +20 台)
会 員 : 143 名 (前年度比: -139)
※正会員: 8、準会員: 132 名
賛助会員 : 個人 2 名
コミュニティ・カーシェアリング利用者 : 112 名
レンタカー貸出件数 : 801 件

■ コミュニティサポート事業

仮設住宅から復興住宅へ住まいが移ることに伴い、『コミュニティ・カーシェアリング』の現場も仮設住宅から復興住宅へ移っていきました。復興公営住宅への新規導入を進めながら、仮設住宅においては既存のグループのサポートと、車を活用した生活再建支援を中心に活動を行いました。また、『コミュニティ・カーシェアリング』をテーマとした国際シンポジウムをオーストリアの事業者と共に石巻でスタートさせることができました。

1. カーシェアリング・コミュニティサポートセンター事業

(1) 仮設住宅でのコミュニティ・カーシェアリング

仮設住宅(被災地域を含む)に導入している地域へ巡回しながらフォローを行いました。引越すと、利用者が少なくなり個人的な利用になっているところに関しては徐々にリースへの移行を促したため退会が続いたことによって、4月の時点で20台活用していた車が最終的に7台となりました。

巡回件数: 234 件

(2) 引越しサポート(電トラ無料貸出)

電気軽トラックの無料貸出支援を、一年を通して毎月仮設住宅にチラシの配布や掲示などで広報活動を行いました。利用者からの口コミや市の担当の方の紹介でお問合せをいただくこともありました。掲示活動の中で、集約も進み、仮設住宅を訪ねることに寂しさも感じますが、最

後まで寄り添った活動をおこなっていければと思います。

利用件数：24

(3) サポート・レンタカー (半年間月額1.5万円)

利用いただいた方々は、この支援を活用して仕事を見つけ、車を無事購入し自立されたり、経済的な事情で車を手放さざるを得ないような方がなんとか急場を凌ぎ生活を維持できたりなど大変喜んでいただきました。また、生活の再建に時間がかかる事情の方々については、6カ月の支援の後、カーリースへ移行し長期的な生活支援を受けられる環境も年度内に整えることができました。

利用件数：4

(4) コミュニティ活動サポート (大型車無料貸出)

仮設住宅にお住いの方同士のお出かけに大型車両を無料で貸し出すコミュニティ支援を行いました。今年度から始めた事業なので広報活動のため、市内の仮設団地の集会所にポスターの設置を行いました。8月に大橋団地のカーシェアリンググループが中心となって最初の活用として栗原市長沼の「はすまつり」に行くために利用いただきました。第一回目がとても好評で大橋団地では、10月の鳴子峡、1月の松島への日帰り旅行も実施されました。

2月からは仮設自治会役員らが母体となって結成された「石巻じちれん」が定期的なお茶っこを集約仮設である南堺第4団地、大橋団地で実験的に開始したので連携し旅行企画のサポートを行いました。南堺第4団地で2月に鳴子温泉、大橋仮設団地で3月に秋保温泉に日帰り旅行に行きました。南堺では12月に仮設から移転して来た方も参加し、既存住民との交流が実現し、お花見旅行も計画されることになりました。大橋では既存住民のお別れ会も含んだ日帰り旅行となり、参加者が多く4台の車で秋保温泉に行きました。

支援を実施した大橋団地・南堺第4団地の経験を通して、一度実施すると親睦が深まり、精神的なケアにもつながり、発展性がある(活動が続いていく)、そして推進するにあたり住民との連携や関係が非常に重要であることが分かりました。今後集約していく仮設へのサポートとして団地内の交流と精神的なケアへの効果に大きな手ごたえを感じました。

利用件数：5件

2. 石巻エコEVカーシェアリング事業

- (1) 復興住宅でのコミュニティ・カーシェアリング(助成金：しんきんの絆、委託：CLC・UR都市機構)
- 今年度はUR都市機構と石巻市と三者協定を結び、UR都市機構が建設した団地を中心に進め4箇所を導入することができました。「情報収集→アンケート→説明会→テスト→本格導入」と導入までの一連の流れが生まれ、近隣町内会や社会福祉協議会等の支援組織らとの情報共有や連携も積極的に行うようになり、横展開を進めながら、その質においてもより良いものにする事ができたと思います。また、3カ月に一度、行政・教育機関・関係者らで構成する検討委員会メンバーらで情報共有を行う定例会議を行い、導入に向けての各種調整や次の展開に向けての連携と調整を行いました。

新規導入地域：新西前沼第1復興公営住宅、門脇西復興公営住宅(EV)

中央第2復興公営住宅、不動町

アンケート実施地域：10箇所

カーシェア会主催の旅行：4回

説明会：9回

清算の会・利用者 MTG：5回

コミュニティ・カーシェアリング利用者数：112名

石巻エコ EV カーシェアリング検討委員会定例会議：4回

(2) 防災ネットワーク構築 (寄付：三菱電機㈱)

防災訓練 (10月23日) において、一般の EV ユーザーにも参加いただき、電気自動車を活用した防災訓練を前年度の倍の規模で実施しました。

実施地域：16箇所 訓練参加者数 (概算)：2,440人

(3) 過疎地での公共交通機関の補足

CDS 経営戦略研究所の協力の下、過疎地における公共交通機関との連携について模索する打ち合わせを行いながら、各種調整を行い、次年度に石巻市内の半島沿岸部で実証実験を実施することになりました。

視察：ヤマト運輸 盛岡営業所「ヒトモノバス」(2月9日)

(4) シンポジウム開催 (助成金：復興庁『地域自立支援事業』)

6月にウィーン工科大学の協力の下、オーストリアの利用者同士でルールを決めて車のシェアを行う協同組合 (CARUSO Carsharing 協同組合) の視察を行い、その縁を『『コミュニティ・カーシェアリング』シンポジウム in 石巻の共同開催』に発展させることができました。シンポジウムの一環として地元の交通事業者に現場を案内し、意見交換を行う機会を作ることができ、先述の公共交通機関の連携に向けて一歩踏み出すことができました。CARUSO と「コミュニティ・カーシェアリングネットワーク」を締結し、連携してそのコンセプトを広く発信・普及させていくこととなりました。

視察：6月17～22日

シンポジウム開催：10月8日、9日

■ ソーシャルカーサポート事業

今年度は長期的に利用される方々にとっての利便性向上と非営利事業を財政面で支えるためにリース事業と保険事業を立ち上げました。車を活用した社会貢献を模索し実践する事業として既に実施していたレンタカー事業・緊急支援事業に加え、『ソーシャルカーサポート事業』部門と致しました。

3. レンタカー事業

前年度の倍以上の貸出件数を実現することができました。サポートレンタカーも熊本や岩手での被災者の方を含めると約7倍増の利用となり、事業規模が大きく拡大しました。

貸し出し件数 (全体)：のべ801件 (前年度比：240%増) ※緊急支援の貸し出し件数を含む

生活再建サポートレンタカー：102件 (前年度比：680%増) ※うち石巻6件 (仮設住宅入居者4件)

4. リース事業

地域の困っている方と貢献している方 (生活困窮者・年金生活者・支援団体・移住者・起業家) を対象としたソーシャル・カーリース事業を11月から開始しました。長期でレンタカーを利用いただいている方にとっては大きく料金を下げることができるため、長期レンタカーで利用いただいていた支援団

体や、シェアリングメンバーが減り、車を個人的な利用となられた利用者の方々等にリースに移行していただきました。

貸出件数：26 件

5. 緊急支援事業 (助成金：中央共同募金会、YAHOO 基金、日本財団)

4 月に発災した熊本地震、8 月に発災した台風 10 号水害 (岩手) において一定期間無料のレンタカーによる支援活動を行いました。特に熊本は遠方ということもありましたがこれまでの経験を活かし 41 台の車を近隣県を中心に集め、対応を行うことができました。今後の車を活用した緊急支援活動において大きな経験を私たち自身得ることができたと思います。

災害サポートレンタカー貸し出し件数：96 件 (熊本：73 件、岩手：23 件)

6. 保険事業

車を扱う事業という性質上、自動車保険に関する説明や事故の際のサポート経験を活かし、リース事業の開始を機に調整をすすめ、国内の非営利組織として 4 例目の保険代理店の認定を東京海上日動火災で受けました。非営利事業を支えるという意味合いに加え、保険に関する専門性を持つことで、利用者に安心感を与えると同時に災害現場におけるリスクマネジメントへの提言を視野に入れながら事業を開始いたしました。

契約件数：自動車保険 6 件、自賠責保険 4 件

《下記内容の取り組みを行いました。》

- 4 月 熊本支援開始、学生整備プロジェクト、新西前沼第一復興住宅アンケート
- 5 月 吉野町旅行 (定義山 11 名参加)
- 6 月 オーストリア視察、吉野町清算の会、新立野第二復興住宅アンケート、門脇復興住宅説明会
- 7 月 石巻エコ EV カーシェア検討委員会全体会議、駅前北通り復興住宅アンケート
- 8 月 新西前沼第一復興住宅説明会、新西前沼カーシェア会設立
- 9 月 台風 10 号岩手支援開始、石巻エコ EV カーシェア検討委員会全体会議、南中里復興住宅アンケート
- 10 月 『コミュニティ・カーシェアリング』シンポジウム in 石巻開催、学生整備プロジェクト実施、吉野町旅行 (鳴子 7 名)
- 11 月 石巻市総合防災訓練で EV を活用した防災訓練を実施、保険代理店登録完了、リース事業開始、環境フェア出店、新西前沼第二復興住宅アンケート
- 12 月 石巻エコ EV カーシェア検討委員会全体会議、新西前沼清算の会、吉野町清算の会
- 1 月 最初の保険契約締結、中央第二復興住宅アンケート、不動町住宅アンケート
- 2 月 利用者アンケート調査実施 (吉野町・新西前沼)、門脇第二復興公営住宅説明会
- 3 月 石巻エコ EV 検討委員会全体会議、中央第二復興住宅説明会、不動町町内アンケート、門脇カーシェア会設立、門脇まちびらき出店、中央カーシェア会設立、防災シンポジウム出店、市長報告

平成 29 年 6 月 26 日
一般社団法人日本カーシェアリング協会
代表理事 吉澤武彦